

北方町政策審議会 グループ協議 会議要旨

グループ名	グループ3	出席委員数	7 / 7 名
日 時	平成27年 8月28日（金） 9時30分～11時30分		
場 所	北方みなみ子ども館		
【協議事項】（テーマ等）			
《庁舎跡地利用について》			
[学校支援]			
小中学校が、特に魅力のある学校として町外にアピールできれば「住みたいまち、北方」につながると考えられる。			
・ 現在、北方の小学校のなかにも荒れている学年やクラスが見受けられる。 ・ 家庭の事情も多様ななかで、発達に課題のある子どもやひとり親家庭などの事情によりさみしい思いをしている子どもも中にはいて、そういった子どもたちを積極的にケアしてあげることで、学校全体の安定や活動の向上につながるのではないかな。 ・ ただし、学校生活において課題のある子どもは家庭と学校との態度が全く違うケースも多く、親に課題認識があるとは限らないため、親が認識しない限りせっかくのスクールカウンセラー等も活用できていない。 ・ 岐阜市では、困窮している家庭の子どもなどに対して、週に何度か集まって食事をしたり学習支援をしたりする活動がある。子どもは大人を試してくる部分があるので最初は攻撃的だったりするが時間をかけて支援をすることで、子どもが心を開くようになってきたという話を聞いた。 ・ このように、親とは離れ、家庭とも学校とも別の場所に、子どものすべてを認めて受け入れてあげるような場所が期待される。 ・ 親も、頑なになっているかもしれない。懇談以外にも日常の中に相談できる気軽な場があるとよい。			
[学習支援等サマースクール、アフタースクール活動]			
・ 町内でも、夏休みの間子どもたちの宿題やわからないところなどを見てくれる活動を教員OBの地元の方がボランティアでやってくださっていた地区があった。ほかにも教員OBの方はたくさんいらっしゃるようなので、これを拡げていけないかな。 ・ 教員OB以外にも、退職後の団塊世代の方や人生経験豊かな高齢者などは、多世代型交流施設にて、子育て支援活動に従事することにより地域貢献の高揚感が得られるのでは。 ・ 放課後等に遊ぶのは“子ども館”、学習サポートは庁舎跡地のサポート			

施設と使い分けられるようにしたい。

[子育て支援]

- ◆ 庁舎跡地に多治見のママズカフェのような飲食カフェを取り入れてはどうか。（母親であるスタッフは子どもと一緒に出勤し、託児ではなくおぶったり、スタッフ同士でお互い見ているなどして一緒に過ごす形態）
- ◆ 庁舎跡地が賑わうし、子育て中の母親の利用や働く場の提供になり、前述の子育てサポート施設の運営との相乗効果が期待できる。
- ◆ 子どもや母親の利用が増える為、自転車置き場の拡張が必要であると思われる。
- ◆ 外へ出ていなくてもひとつの建物の中でいろいろな目的（飲食と勉強や保育、趣味など）が果たせるとよい。
- ◆ ハンドメイド教室を開催するとともに、作品を販売するブースを設けてはどうか。
- ◆ カフェ開設にあたってのリフォームも地域の人たちで行うと、愛着がわくとともに、町内の左官屋さんなどのプロの方や一般のそういった作業の得意な方などとのつながりもできるかもしれない。

《自治会活動について》

- ◆ 自治会同士の情報交流の場を設けてはどうか。
→ 先進的な取組みをしている自治会活動を知ることによって参考にでき、活性化につながる。
- ◆ 自治会内の青少年地区推進員活動の中で横のつながりはあるが、それを所属の自治会にフィードバックできる状況になっていない自治会が多い。
- ◆ 自治会未加入者でも加入者と同じように自治会の管理するごみ集積場にごみを出せるため、自治会加入のメリットを薄くしている要因である。
※行政協力の為、各自治会には地域の清掃事業に協力いただいている旨を説明
- ◆ 各戸収集できるとよいが・・・
※ 経費の関係から困難の旨説明。
- ◆ 災害の時の救助や支援を想定すると普段からのつながりが必要と考えられるので、自治会加入促進が課題。ごみシール制が廃止されてから、自治会に地域の住民登録情報が入らなくなった。
※ 閲覧制度が利用できる旨を説明。

《空き家対策》

- ◆ 和光会が空き家を利用してのデイサービス事業などを展開していると聞く。北方町でも受け入れ易いシステム作りを検討してはどうか。

《その他》

- ◆ 町の内外、また、自治会の加入未加入によって、各種利用料金等ある程度差をつける必要があるのではないか。（町内移住促進や自治会加入促進を目的として）
- 新庁舎のベビーベッドは課ごとなど複数設置してほしい。役場での手続き中に便利である。
 - ※ 新庁舎では手続きする母親のそばに子どもを寝かせられるようベビーカーの貸し出し設置を予定している旨を説明
- 民間の古紙・古着回収ステーションが増えてきた影響で、子ども会の古紙回収量が減ってきた。少量では回収業者に指摘されることもある。リヤカーで各家庭を回ったり、子ども会合同で実施したりなど、やり方を検討しては。

※次回、庁舎跡地利用の具体的なプランを検討したいので、現庁舎の平面図を用意。

－次回開催予定日－

平成27年10月1日（木）9：30～

みなみ子ども館

※発言順にこだわらず対応する意見については、まとめて下さい。

発言者名は未記入でお願いします。